



イラクの医療事情

インターナショナルSOSジャパン株式会社
2010年12月20日

治安上のリスク

無差別攻撃
テロ



路上爆弾
誘拐

Courtesy of The New York Times

<http://www.nytimes.com/interactive/2010/10/23/world/middleeast/23surge.html>

では医療上のリスクは？

現地の医療機関は
信頼できる？

国外搬送に何時間か
かる？

出張者が脳梗塞で
倒れた！

感染症対策は？



けが人が発生！
まず何をする？

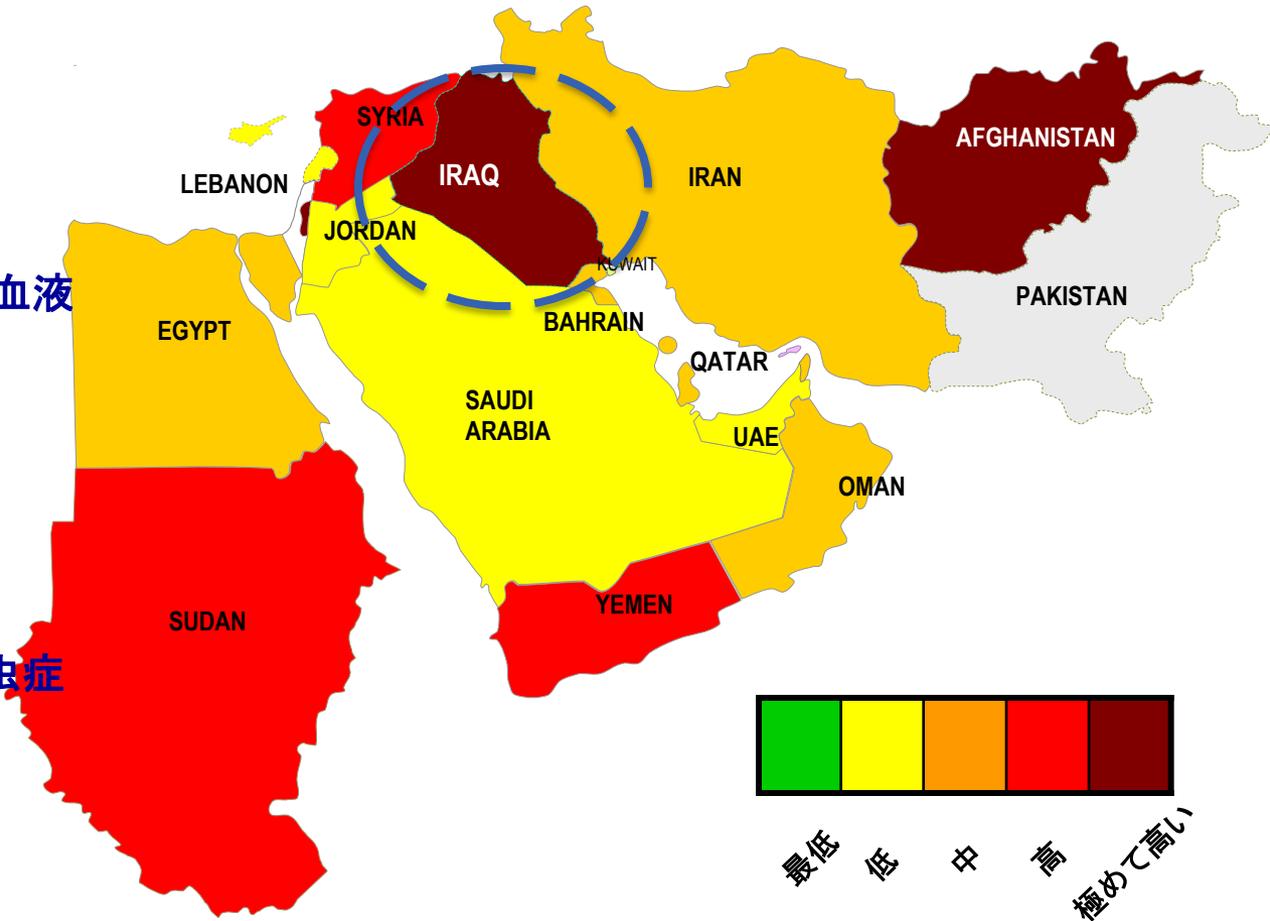
地域内での比較

以下の観点からの比較:

- 感染症のリスク
- 医療ケア水準
(医療従事者のレベル・輸血用血液の安全性・医薬品の信頼性)
- 国内外の医療搬送の可能性

イラクにおける感染症の例:

- 狂犬病・A型/B型肝炎・マラリア
- コレラ・結核・腸チフス・住血吸虫症



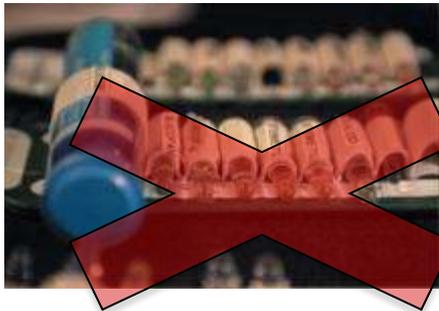
イラクの医療リスクは【**極めて高い**】

イラクの主な医療リスク

信頼できる医療機関の不足



軍による移動の規制



国内外の医療搬送が困難



医薬品の慢性的な不足

従業員の安全を確保し、イラクにおけるビジネスを
成功させるためには？

イラクに進出している 欧米・ロシア・中国各企業による対策例

- ファーストエイドトレーニング
- 緊急時の対応計画
- プロジェクト専用クリニックの設置
- 医師・救急救命士の配置
- 医療設備・医薬品の手配
- 救急車の配備
- 医療アシスタンス会社との連携





Worldwide reach Human touch

第一のステップとして

イラクおよびプロジェクト固有の 医療リスクを把握する

- 客観的な視点で、現場における医療リスクを評価し、本社のHSE方針に沿った対策を立てる。
- 無駄なところにコストをかけず、必要なところに投資をするための判断材料とする。

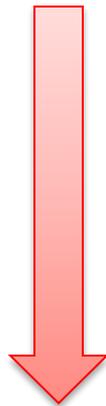
医療対策が不十分

頻繁な医療搬送によるコスト増

従業員の欠勤によるプロジェクトの遅れ

* 何より従業員の健康・人命の確保の遅れ

根本から負の要因を断ち切ることで、
潜在的なコストを削減



インターナショナルSOS会社概要

<本社>

社名	International SOS Pte Ltd
所在地	シンガポール・ロンドン
設立	1985年
全社従業員数	約6,000名 (うち医師、医療関係者 約2,000名)
対応言語	90ヶ国語
アラームセンター	23ヶ国26カ所 (24時間、365日稼働)
直営クリニック	15ヶ国31カ所
営業拠点	40ヶ国66拠点
遠隔地サービス拠点	世界400カ所以上
自社医療搬送専用機	11機
提携プロバイダー	全世界78万以上 (医療機関、移送機関、弁護士他)
アシスタンス実績	年間約120万件以上(2009年実績)

2009年度アシスタンス実績

合計アシスタンス数	1,241,699件 (26秒に1件)
医療アシスタンス	483,092件 (1分5秒に1件)
うち緊急医療移送	16,332件 (32分に1件)
その他(セキュリティトラベル)	758,607件 (42秒に1件)

イラクにおけるサービス提供実績

医療リスク調査

緊急時の医療対応計画の策定

患者の国外緊急医療搬送

ファーストエイドトレーニング

プロジェクト専用クリニックの設置

医師・救急救命士・救急車の配置 他

*2010年より、イラク国内で米国防総省に緊急医療サービスを提供している、RMSI社(本社:ドバイ)と戦略的業務提携を結びました。

インターナショナルSOSは世界最大規模の国際医療・セキュリティのアシスタンス会社です。

駐在員や出張者、帯同家族が直面しうる医療およびセキュリティ上のリスクに対する、組織的な危機管理を支援するとともに、アラームセンターやクリニック、医療やロジスティクスの提携機関を通して、現場に即した専門知識のもとに、予防措置のためのアドバイス、重篤な病気・事故・社会不安が起こった際の緊急支援を提供しております。

インターナショナルSOSは、Fortune Global100社のうち、87%の企業をはじめ、一般企業、政府機関、非政府機関など様々な機関・業界の皆様にも主要なサービスを提供しております。

ご清聴ありがとうございました

インターナショナルSOSジャパン株式会社
セールス&マーケティング本部

Tel: 03-3560-8400

E-Mail: Tokyosales@internationalsos.com

www.internationalsos.co.jp

